子育てサロン型＋体験活動参加型（小学校）

学 校 名 等	岐阜市立徹明小学校
実 施 日 時	平成２７年１１月１０日(火)　１０：００～１２：００
会　　場	岐阜市徹明公民館　２階及び１階ホール
参 加 人 数	子育て座談会（保護者１７名＋３名） 珈琲講座（保護者・地域住民等３０名）
学習課題（分野）	子育て座談会＆珈琲講座
運営者の願い	・子育てに関する不安や悩みをアットホームな雰囲気の中で、気軽に話し、思いを吐き出すことで心を軽くし前向きな気持ちになってほしい。（事前アンケートで話題を調査） ・珈琲豆の違いや美味しい淹れ方を学び、実際に香り高い珈琲を飲み比べながら語ることで、心身をリフレッシュする。

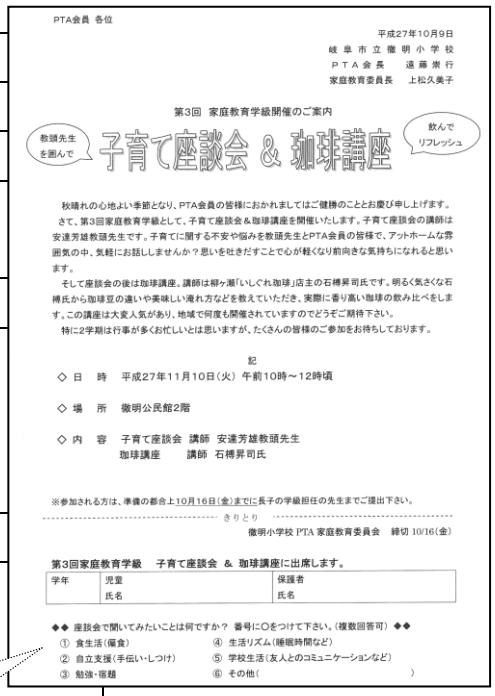
学　習　の　内　容

＜あいさつ＞　家庭教育委員長

・子育て座談会＆珈琲講座を通して、不安や悩みを語り、心を軽くし前向きになってほしい。

・本日の日程　・講師紹介

事前アンケートで当日の話題を絞り、主体的学びを創る。
１自立支援（手伝い、躾）　２学校生活　３ネット社会



PTA会員 各位

平成27年10月9日
岐阜市立徹明小学校
ＰＴＡ会長　遠藤崇行
家庭教育委員長　上松久美子

第3回 家庭教育学級開催のご案内

教頭先生を囲んで　子育て座談会 ＆ 珈琲講座　飲んでリフレッシュ

秋晴れの心地よい季節となり、PTA会員の皆様におかれましてはご健勝のことお慶び申し上げます。
さて、第3回家庭教育学級として、子育て座談会＆珈琲講座を開催いたします。子育て座談会の講師は安達芳雄教頭先生です。子育てに関する不安や悩みを教頭先生とPTA会員の皆様で、アットホームな雰囲気の中、気軽にお話ししませんか？思いを吐きだすことで心が軽くなり前向きな気持ちになれると思います。
そして座談会の後は珈琲講座。講師は柳ヶ瀬「いしぐれ珈琲」店主の石樽昇司氏です。明るく気さくな石樽氏から珈琲豆の違いや美味しい淹れ方などを教えていただき、実際に香り高い珈琲の飲み比べをします。この講座は大変人気があり、地域で何度も開催されていますのでどうぞご期待下さい。
特に2学期は行事が多くお忙しいとは思いますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

記

◇ 日　時　平成27年11月10日（火）午前10時～12時頃

◇ 場　所　徹明公民館2階

◇ 内　容　子育て座談会　講師　安達芳雄教頭先生
　　珈琲講座　　講師　石樽昇司氏

※参加される方は、準備の都合上10月16日（金）までに長子の学級担任の先生までご提出下さい。

きりとり

徹明小学校 PTA 家庭教育委員会　締切 10/16（金）

第3回家庭教育学級　子育て座談会 ＆ 珈琲講座に出席します。

学年	児童 氏名	保護者 氏名

◆◆ 座談会で聞いてみたいことは何ですか？ 番号に○をつけて下さい。（複数回答可）◆◆

① 食生活（偏食）　④ 生活リズム（睡眠時間など）
② 自立支援（手伝い・しつけ）　⑤ 学校生活（友人とのコミュニケーションなど）
③ 勉強・宿題　⑥ その他（　　）

＜子育て座談会＞

講師：　安達　芳雄　氏　（徹明小学校教頭）

（1）自立支援（手伝い、しつけ）について

・**「手伝い」**をさせている人は、　6人（35％）。風呂洗い、ゴミ出し、新聞取り等。続けさせていくためには、“意義”を語ること、家族に一員だよと所属感をもたせること、自己選択させること、自分はどうしたいのか語らせること。時間の長さではなく、親子できちんと向き合って語り合うことで、子どもは育つと学び合った。

・**「しつけ」とは、**生活していく上で揺るぎないもの。人それぞれ。保護者のポリシー。過度の暴言・暴力は、心の傷を負わせる。力ですることは、本当の教育ではないことを再確認しあえた。

・**「NGワード」**の話し合いでは、「早く」「ダメ」「ほれみい」「やっぱり」「あんたのせいで」など、子どもを信用していない言葉を言わないようにしているとのこと。逆に「あなたのお陰で」「助かった、うまくいった、嬉しかった、頑張れた」というすてきな言葉をかけたいと、ほっこりした雰囲気であった。

（2）学校生活（友人とのコミュニケーション）について

・学校のことを話すことが好きな子ばかりではない。　だから、子どもには「～あった。～ない。」ではなく、**「どう思う？」**と聞いて、子どもの思いを語らせる家庭をめざしたいという前向きさに溢れた。

（3）ネット社会について

・スマホ、タブレット、ゲーム機を通して、自分の部屋を世界中に発信している危険性を自覚させる。
親の責任で使わせることが重要。加害者にも被害者にもなることを親が教えなければならない。

＜珈琲講座＞

講師：　石樽　昇司　氏　（いしぐれ珈琲店マスター）

・ブラジル、コロンビア、ガテマラ、マンデリンの4種類の珈琲を飲み比べた。酸味、苦味、甘味、コクを味わいながら、楽しい語らいの時間を過ごした。できのいい豆を購入し、少し冷まして豆がふわっと上がってくるように入れる実演も見せていただいた。チョコなどは、珈琲と合うが、イチゴなどは合わないので、飲み合わせも考えるとよいことも学んだ。

＜参加者の反応＞

・自分の思いを話すことができたし、他の人の意見も聞くことできたのでよかった。教頭先生が具体的な話をしてくださったので、これからわが子とのよい関係づくりができそうだ。

・美味しい珈琲を4種類も飲むことができ、楽しく語ることもでき、とても満足している。

＜子育てサロン型＞

①「子育て座談会」のねらいを明記した案内文書を配布。（右上参照）

②話したい内容を事前アンケートで調査。３点を中心に語り学んだ。

③教頭先生を囲む形で参加者が主体的に子育ての話ができるようコーディネートされた。

④教頭先生との事前打ち合わせが十分された。

＜体験活動参加型をセット＞

①珈琲の専門講師を招き、本格的な珈琲についての学びと語りをセットにして企画した。

②４種類の珈琲を飲みながら、子育てや日常の悩みを和気あいあいとした雰囲気で語り合うことができ、リフレッシュできた。